



## 昆虫で食品製造副産物を有効利用

アメリカミズアブという昆虫の幼虫は、いろいろな食品製造副産物を食べて成長できます。育った幼虫は動物性タンパク質源として水畜産業の飼料に、食べ終わった残さは肥料に利用する研究を進めています。

### アメリカミズアブとは？

成虫で体長2 cmくらいの双翅目昆虫です。名称に「アブ」が入っていますが、咬んだり刺したりしないので、人畜無害と言われています。幼虫は野菜くずなどで育てることができて、ニワトリや魚の飼料にすることができます。

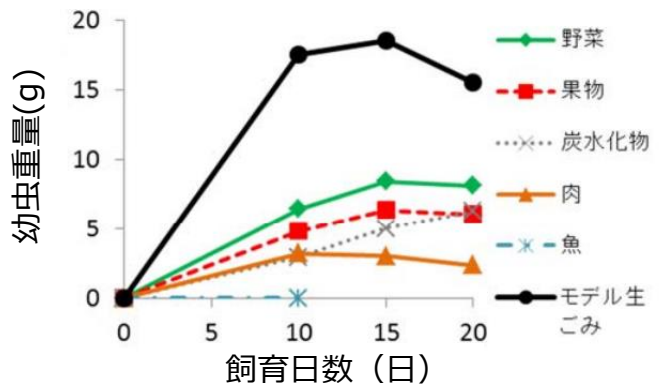


↑育った幼虫

### どのような原料で幼虫が育つ？

環農水研では、野菜や果物などをエサにしてアメリカミズアブを育てて、どれくらい幼虫を生産できるのか、という研究を実施しました。

研究の結果、単一種類のエサよりも、複数種類を混合した「モデル生ごみ」で最も生産重量が高くなることわかりました。



↑100gのエサに対する幼虫の生産重量  
(大阪府立環農水研報 4:1~5 (2017))



←幼虫と飼育残さ

食品製造副産物でのアメリカミズアブ飼育技術に興味がある方は、食品グループまでご相談ください。

・環農水研の加工機器や分析機器を用いた試作や試験研究などをご依頼いただけます。

詳細は、右記の環農水研ホームページをご覧ください。

・お問合せは、食と農の研究部 **食品グループ (072-979-7063)** まで。

<技術支援制度詳細>

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/shien/openlabo/>



環境農林水産総合研究所 技術支援制度

検索